

好みの構図で記念撮影をする(プリショット)

プリショット機能は人に撮影を依頼するときに便利な機能です。この機能では一度の撮影で2回の撮影を行います。1回目の撮影で撮影画像を半透明の状態【液晶モニター】上に表示し、2回目では表示されている半透明の画像を自撮り最終的な撮影を行います。2回目に撮影した画像が記録されます。この機能はベストショットモード(53ページ)の中にあります。

- 好みの構図を自分で撮影



- 構図に合わせて他の人に撮影してもらおう



- 2回目だけの画像が記録される



1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“BS” (ベストショット)を選び、【SET】を押します。
4. 【◀】【▶】で“プリショット”のシーンを選び、【SET】を押します。
5. 最初に仮撮影を行います。
 - この操作で撮影した画像は操作6で半透明で表示されますが、最終的にはカメラに保存されません。
 - この撮影で下記の情報が固定されます。フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

57

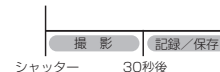
6. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている背景と、現在の背景を正しく重ねるようにフレームを合わせて撮影します。
 - この操作で撮影した画像がカメラに保存されます。
 - 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。



半透明の画像

動画を撮影する(ムービーモード)

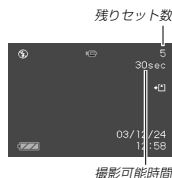
一度に最大30秒まで動画を撮影することができます。



- ファイル形式：AVI形式
AVI形式は、Open DML グループが提唱したMotion JPEG フォーマットに準拠しています。
- 画像サイズ：320×240pixels
- 動画ファイルサイズ：約150KB/秒
- 撮影可能なムービーの時間：
 - 一度に撮影可能な最長時間：30秒
 - 撮影可能なトータル時間：内蔵メモリーで最長約1分、64MBのSDメモリーカードで最長約6分50秒

58

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“M” (ムービー)を選び、【SET】を押します。
 - 「残りセット数」は、30秒の動画をあと何回撮影できるかを示しています。



4. 撮影する被写体にカメラを向け、【シャッター】を押します。
 - 30秒間、動画撮影が続きます。
 - 動画撮影中は【液晶モニター】に「残り撮影時間」を表示します。
 - 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【シャッター】を押す前ですと、光学ズームは使用できます。
 - 動画撮影を30秒以内で終了させたいときは、もう一度【シャッター】を押してください。



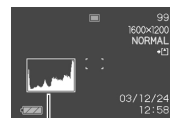
5. 動画撮影が終了したら、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。
 - 動画ファイルの保存を中止したいときは、保存中に【▼】を押した後、「消去」を選び、【SET】を押してください。

重要! • フラッシュは発光しません。

59

ヒストグラムを活用する

【DISP】を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出をチェックしながら撮影することができます(20ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。



ヒストグラム

ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために充分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。

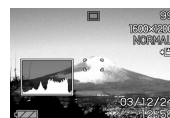
- ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎていると、黒つぶれを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎていると、白飛びを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。



60

重要! 前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合があります。

- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
- 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
- フラッシュ撮影による撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
- カップリングショット撮影時(55ページ)は、ヒストグラムは表示されません。

各種機能を設定する

RECモードにおいて、下記の機能を設定することができます。

- ISO感度
- 測光方式
- 色彩効果(フィルター)
- 彩度
- コントラスト
- シャープネス
- グリッド表示のオン/オフ
- 撮影レビュー
- 左右キー設定
- 各種設定の記憶(モードメモリ)
- 各種設定のリセット

参考 上記以外に、次の機能も変更できます。操作方法については各ページをご覧ください。

- サイズ/画質(44ページ)
- ホワイトバランス(51ページ)
- フラッシュ光量(42ページ)
- デジタルズーム(40ページ)
- AFエリア(46ページ)

ISO感度を変える

ISO感度を変更できます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"ISO感度"と選び、[▶]を押します。
3. 設定内容を選び[SET]を押します。
オート : 撮影条件により自動調整します。
ISO 80 : ISO 80相当
ISO 160 : ISO 160相当
ISO 320 : ISO 320相当

重要! ISO感度を上げると画像のノイズが増加します。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが、適正にならない場合があります。

測光方式を変える

測光方式の変更ができます。

1. RECモードで[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"測光方式"と選び、[▶]を押します。
3. 設定内容を選び[SET]を押します。

マルチ(マルチパターン) :

画面の全体を分割し、それぞれのエリアについて測光します。測光結果の明暗/パターンによって撮影環境をカメラが自動的に判断し、露出を決定します。様々なシーンで失敗の少ない露出が得られます。



中央重点 :

中央部を重点的に測光します。カメラ任せではなく、自分である程度露出をコントロールしたいときに使います。



スポット :

センターのごく狭い部分を測光します。周囲の影響を受けずに、写したい被写体に露出を合わせることができます。



重要! "マルチ"設定時に、EVシフト(50ページ)を行うと測光方式が自動的に"中央重点"に切り替わります。EVシフトを"0.0"に戻すと、元の測光方式に戻ります。

色を変える(フィルター)

フィルター機能を使用して撮影時の画像の色彩効果を変更することができます。

1. RECモードで[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"フィルター"と選び、[▶]を押します。
3. 設定内容を選び[SET]を押します。
切/白黒/セピア/赤/緑/青/黄/ピンク/紫

参考 フィルター機能を使うと、色彩効果用のレンズフィルターを装着して撮影したような画像になります。

彩度を変える

撮影される画像の色の鮮やかさを設定できます。

1. RECモードで[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"彩度"と選び、[▶]を押します。
3. 設定内容を選び[SET]を押します。

色が淡く 低 : 色の鮮やかさが低くなります。

↑
標準 : 標準の彩度になります。

↓
色が濃く 高 : 色の鮮やかさが高くなります。

コントラストを変える

撮影される画像の明暗の差を設定できます。

1. RECモードで[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"コントラスト"と選び、[▶]を押します。

3. 設定内容を選び[SET]を押します。

平坦 低 : 明暗が平坦になります。

↑
標準 : 標準のコントラストになります。

↓
クッキリ 高 : 明暗がクッキリします。

シャープネスを変える

撮影される画像の鮮鋭度を設定できます。

1. RECモードで[MENU]を押します。
2. "撮影設定"タブ→"シャープネス"と選び、[▶]を押します。

3. 設定内容を選び[SET]を押します。

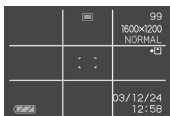
柔らかく ソフト : 鮮鋭度が低くなります。

↑
標準 : 標準の鮮鋭度になります。

↓
クッキリ ハード : 鮮鋭度が高くなります。

グリッドを表示する

撮影時、【液晶モニター】に方眼を表示します。カメラを水平や垂直に保つのに便利です。



- RECモードで【MENU】を押します。
- “撮影設定”タブ→“グリッド表示”と選び、【▶】を押します。
- 設定内容を選び【SET】を押します。
入：グリッドを表示します。
切：グリッドは表示しません。

65

左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)

【◀】【▶】に、5つの中のどれか1つの機能の操作に割り当てることにより、操作しやすくすることができます。

- RECモードにして【MENU】を押します。
 - “撮影設定”タブ→“左右キー設定”と選び、【▶】を押します。
 - 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。
- 【◀】【▶】で設定した機能が操作できるようになります。
 撮影モード：撮影モード(静止画/ベストショット/ムービー)が変更できます(123ページ)。
 EVシフト：露出値(EV値)が補正できます(50ページ)。
 ホワイトバランス：ホワイトバランスが変更できます(51ページ)。
 ISO感度：ISO感度の変更ができます(62ページ)。
 セルフタイマー：セルフタイマーの設定ができます(43ページ)。
 切：【◀】【▶】に操作を割り当てません。

参考 ●初期設定は“撮影モード”の操作となります。

66

各種設定を記憶させる(モードメモリ)

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入/切で毎回設定をし直す手間がはぶけます。

●モードメモリで設定できる機能

撮影モード、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、AFエリア、測光方式、フラッシュ光量、デジタルズーム、MF位置

- RECモードにして【MENU】を押します。
- “モードメモリ”タブ→“設定したい機能”と選び、【▶】を押します。
- 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
切：電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機能	入	切
撮影モード	最後のモード	静止画
フラッシュ		オート
フォーカス方式		オート
ホワイトバランス		オート
ISO感度		オート
AFエリア		スポット
測光方式		マルチ
フラッシュ光量		標準
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置

重要! ●ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、RECモードとPLAYモードを切り替えたり、電源のオン/オフを行うと、モードメモリが入/切のどちらに設定されていても、撮影設定(フラッシュ、ホワイトバランス、ISO感度)は各シーンの初期設定値となります。
●ムービーモードでは、モードメモリの入/切の設定に関わらず、フラッシュは常に発光禁止に設定されます。

67

撮影した画像を確認する(撮影レビュー)

撮影した直後に【液晶モニター】で撮影した画像を確認することができます。

- RECモードにして【MENU】を押します。
- “撮影設定”タブ→“撮影レビュー”と選び、【▶】を押します。
- 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。
入：撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。

各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」(123ページ)をご覧ください。

- RECモードまたはPLAYモードで【MENU】を押します。
- “設定”タブ→“リセット”を選び【▶】を押します。
- “リセット”を選び【SET】を押します。
●リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。

再生する

本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルの本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

- 【▶】(PLAY)を押します。
●【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。
●PLAYモードになり、再生できる状態になります。
- 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。



【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。

参考 ●【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
●初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐあとに精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像では、この限りではありません。

68

画像を拡大して表示する

撮影した画像を4倍まで拡大して表示させることができます。

- PLAYモードにして、【◀】【▶】で拡大したい画像を表示させます。
- 【ズームレバー】を“Q”側にスライドさせて拡大します。
●【液晶モニター】に現在の倍率が表示されます。
●【DISP】を押すと倍率などの表示のオン/オフができます。
- 【▲】【▼】【◀】【▶】で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。
- 【MENU】を押すと、画像は元の大きさに戻ります。



重要! ●動画は拡大表示できません。
●画像のサイズにより、4倍までの拡大表示ができない画像があります。

画像サイズを変える(リサイズ)

撮影した静止画像のサイズを、次の2種類のサイズに変えることができます。

1280×960pixelsのSXGAサイズ
640×480pixelsのVGAサイズ

•VGAサイズの画像は、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“リサイズ”を選び、[▶]を押します。



3. [◀][▶]でサイズを変えたい画像を表示させます。

4. [▲][▼]でリサイズ内容を選び、[SET]を押します。

1280×960 : 1280×960pixelsのSXGAサイズに変えます。

640×480 : 640×480pixelsのVGAサイズに変えます。
キャンセル : リサイズを中止します。

- 重要!**
- リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
 - 画像サイズが640×480pixels以下の画像はリサイズできません。
 - このカメラで撮影した画像以外の画像は、リサイズできません。
 - “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、リサイズできません。
 - リサイズした画像を保存できるだけメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。
 - リサイズした画像をカメラで表示した場合は、リサイズを実行した日時が表示されますが、EXIF情報*の日時情報は、撮影時のまま保持されています。
- *EXIF情報には撮影時の状況が記録されています(116ページ)。

画像の一部を切り抜く(トリミング)

拡大した画像から必要な箇所を切り抜いて、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像などの構図を整えることができます。

1. PLAYモードにして、[◀][▶]でサイズを変えたい画像を表示させます。

2. [MENU]を押します。

3. “再生機能”タブ→“トリミング”を選び、[▶]を押します。



- 画面に画像を切り抜くための枠が表示されます。

4. [ズームレバー]を操作して、枠の拡大/縮小をします。

- 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。

5. [▲][▼][◀][▶]で切り抜きたい部分を枠で囲みます。

6. [SET]を押します。

- トリミングを中止する場合は[MENU]を押します。

- 重要!**
- トリミングした画像は最新ファイルとして保存されます。
 - トリミングしても、トリミングする前の画像は残っています。
 - ムービーモードで撮影した画像はトリミングできません。
 - このカメラで撮影した画像以外の画像は、トリミングできません。
 - “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、トリミングできません。
 - トリミングした画像を保存できるメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。
 - トリミングした画像をカメラで表示した場合は、トリミングを実行した日時が表示されますが、EXIF情報*の日時情報は、撮影時のまま保持されています。
- *EXIF情報には撮影時の状況が記録されています(116ページ)。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. PLAYモードにして、[◀][▶]で再生したい動画を表示させます。



2. [SET]を押します。

- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。
 - 早戻し/早送りする [◀][▶]を押す続ける
 - 再生と一時停止を切り替える [SET]を押す
 - 一時停止中にコマ送りを [◀][▶]を押す
 - 再生を中断する [MENU]を押す

重要! 動画を連続して再生することはできません。再度再生したいときは、もう一度、上の操作を行ってください。

1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. PLAYモードにします。

2. [ズームレバー]を“9”側に1回スライドさせます。

- 9つの画像が表示され、最初に表示されていた画像は、枠が付いた状態で中央に表示されます。
- 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は1枚目の画像に付きません。
- [◀]または[▶]を押して、枠が画面の左端、または右端まで行くと、次の9枚を表示します。
- [ズームレバー]を“9”側に2回スライドさせるとカレンダー表示(72ページ)になります。

例: 画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合

17	18	19	→	6	7	8	→	15	16	17
20	1	2		9	10	11		18	19	20
3	4	5	←	12	13	14	←	1	2	3

3. [▲][▼][◀][▶]で画像を見ていきます。

4. [▲][▼][◀][▶]以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。

目当ての画像を素早く表示する

1. 9画面表示に切り替えます。

2. [▲][▼][◀][▶]で目当ての画像に枠を移動します。



3. [▲][▼][◀][▶]以外のボタンを押します。

- 目当ての画像が1枚で表示されます。



カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。

1. PLAYモードにして[ズームレバー]を“9”側に2回スライドさせます。

- [MENU]を押してから、“再生機能”タブ→“カレンダー表示”を選び、[▶]を押してもカレンダー表示になります。

2. [▲][▼][◀][▶]で目当ての画像に枠を移動します。

- 年/月の表示は“表示スタイル”の設定(91ページ)に従って表示されます。
- 各日付上にその日に撮影した最初の画像が表示されます。
- 枠が上端にあるとき[▲]を押すと前の月の画面に移ります。
- 枠が下端にあるとき[▼]を押すと次の月の画面に移ります。
- カレンダー表示を終えるには[MENU]または[ズームレバー]を“9”側にスライドさせます。
- このカメラで表示できないデータの場合は[]が表示されます。



3. 見たい画像に枠を移動させたら、[SET]を押します。

- その日に撮影した最初の画像が表示されます。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。縦置きで撮影した画像や、回転させたい画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“回転表示”と選び、[▶]を押します。
3. [◀][▶]で回転させたい画像を表示させます。
4. “回転”を選び[SET]を押します。
 - “回転”を選んだ状態で[SET]を押すたびに90°ごとに右まわりに回転します。
5. [MENU]を押して設定を終了します。



- 重要!**
- メモリープロテクトをかけたファイルは、回転することはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。
 - 他のデジタルカメラで撮影した画像では、回転できない場合があります。

画像ルーレット機能

カメラ内の画像を【液晶モニター】でルーレットのように送りながら1枚の画像を選択していく機能です。画像ルーレットがスタートすると画像はランダムに選択されて送られます。最初は速く送り、徐々に送る速度をゆるめていき最後に1枚の画像を選択して止まります。最後に選択される画像がどれになるかはわかりません。全く規則性はありません。

1. 電源が切れている状態で、[◀]を押したまま[▶] (PLAY)を押して電源を入ます。
 - [◀]は【液晶モニター】が表示されるまで押し続けてください。
 - 画像ルーレットが開始され、最後に1枚の画像が選択され止まります。
2. [◀]や[▶]を押すと画像ルーレットを再開します。
3. [REC] (REC)を押してRECモードにするか、【電源ボタン】を押して電源を切ると、画像ルーレット機能は終了します。

重要! • 動画は画像ルーレットの対象となりません。

- 静止画が1枚だけの場合は画像ルーレット機能に入りません。
- カメラで撮影した画像がルーレットの対象となります。他の画像が入っていると画像ルーレット機能が動作しない場合があります。
- 画像が停止してから約1分以上、次の画像ルーレットを開始しないと通常のPLAYモードになります。

消去する

ファイルを消去する方法には次の2つの方法があります。

- 1ファイル：ファイルを1ファイルずつ消去する。
全ファイル：すべてのファイルを消去する。

- 重要!**
- 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
 - メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(78ページ)。
 - すべてのファイルがメモリープロテクト(79ページ)されている状態では、消去は実行できません。

1ファイルずつ消去する

表示されているファイルを1ファイルずつ消去することができます。

1. PLAYモードにして[▼] (4)を押します。
 
2. [◀][▶]で消去したいファイルを表示させます。
3. [▲][▼]で“消去”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. [SET]を押して、表示しているファイルを消去します。
 - 手順2～4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。
5. [MENU]を押して、消去操作を終了します。

- 重要!** • 消去できないファイルを消去しようとすると、“このファイルではこの機能は使用できません”と表示されます。

全ファイルを消去する

すべてのファイルを消去することができます。

1. PLAYモードにして[▼] (4)を押します。
2. [▲][▼]で“全ファイル消去”を選び、[SET]を押します。
3. [▲][▼]で“はい”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“いいえ”を選んでください。
4. [SET]を押して、すべてのファイルを消去します。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等やファイルの消去防止の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵メモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ/ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

100CASIO
└──
連番(3桁)

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

CIMG0026.JPG
└── 拡張子
連番(4桁)

- 保存できるフォルダ数、ファイル数は画質やメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリー内のディレクトリ構造」(109ページ)をご覧ください。

77

ファイルの管理について

記録したファイルにメモリープロテクト(消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がつけられています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(75ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

1ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”を選び、[▶]を押します。



3. [◀][▶]でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。

78

4. [▲][▼]で“オン”を選び、[SET]を押します。

- メモリープロテクトがかけられ、[ON] が画面上に表示されます。
- メモリープロテクトを解除するときは、“オフ”を選んでください。



5. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“全ファイル オン”を選び、[SET]を押します。

- メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル オフ”を選んでください。

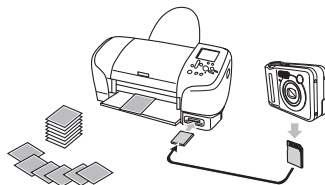
4. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

ファイルの管理について

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

- 設定可能な内容
画像/枚数/日付



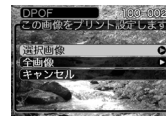
79

ファイルの管理について

1画像単位で印刷設定を行う

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”を選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で“選択画像”を選び、[▶]を押します。

4. [◀][▶]で印刷したい画像を表示させます。



5. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[日]を表示させます。

- 日付が不要なときは、[DISP]を押して[日]を消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4~6をくり返してください。

7. [SET]を押します。

80